

新年のごあいさつ 謹賀新年

春季堂に満つ われ今新生せり

2014年、今年はどんな年になるのでしょうか。

愛する私たちの伊豆の国市は、誕生して10年目に入ろうとしています。人の一生に例えますれば10歳。今まさに伸びんとする時、大きな理想を打ち立て、まっしぐらに進もうとする時であります。国づくりも同様、大きな目標に向かって、基盤を積み重ねて行く時と言えましょう。

昨年は願成就院の運慶作諸仏5体が国宝に、葦山反射炉が世界文化遺産登録に向け国内推薦決定と、ビッグニュースに沸きました。待ち望んだ朗報は、私たちの心を豊かにしてくれました。私たち市民は、大偉業を成し遂げた先人たちのご苦労に対し、深く敬意を表するとともに、未来の人たちの幸せを願い、新たなまちづくりに動しんでいかなければならないと思います。

4月に市長に就任して8カ月が経ちました。表明した7つの命題に沿って、粛々と行政を進めております。一般廃棄物処理施設の移転を含む安心安全の暮らしを実現するために、また子育て支援、教育環境の充実、待ったなしの防災対策・医療・介護・福祉の諸問題、観光地のにぎわいを取り戻すことはもとより、農業・

商工業を一体化させた産業の発展を期して、それぞれ施策の事業化を図っているところです。

行財政改革では、市民による事業評価を行い、それを受けて従来の事業の見直しを進めるとともに、庁内では機構の改編を行って7つの命題の早期実現に取り組むところです。財政的にはさらに苦しい時代に入ろうとしています。私をはじめ職員一同懸命に取り組む覚悟です。市民の皆様には是非ご理解いただき、強い意志を持って市民協働のまちづくりを成功させようではありませんか。

2014年は、伊豆の国市にとってどんな年になるのでしょうか。それを創るのはあなた、そして私です。

市民の期待に応える年に

昨年は、第二次安倍政権誕生後に打ち出された経済対策などにより、景気回復の兆しが見えはじめてきましたが、私たちには未だに実感がありません。特に、地域経済は疲弊しており、本年は景気回復を実感できる年となるよう期待しています。

4月は、議会議員定数を5人削減し定数17人で市議会選挙が行われ、女性議員が4人に増えました。また、市長選挙では県内初の女性市長、小野市長が誕生しました。女性市長誕生と女性議員が増えたことで、子育て支援・女性の就業支援など、これまで以上に女性の視点によるきめ細やかな事業展開が期待されます。

10月には、議会改革の一環で制定した「伊豆の国市議会基本条例」に基づき、議会として初めての報告会を行いました。この報告会は、市民の皆様と議員が語り合い、市民の皆様のご意見を伺い議員活動・議会活動に生かすものです。参加された多くの市民の皆様より貴重なご意見を頂きましたので、今後の議会活動に生かしてまいります。なお、この議会報告会は、平成26年度以降も継続していきます。市民の皆様には、今回以上のご参加をいただきますようお願い申し上げます。

今年は、合併10年を迎えます。「役所と市民協働」を主張する小野市長には、市民の声を十分反映した節目の年に相応しい、事業展開を切望いたします。

当市議会は、ますます多様化する社会・経済情勢、市民ニーズを的確に把握し、「市民の求めるまちづくり」・「安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現を行政と共に目指してまいります。

これからも皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が市民の皆様にとって、素晴らしい年となるようご祈念申し上げます、新年のあいさついたします。

伊豆の国市長

小野登志子

葛城山山頂より

伊豆の国市議会議員

古屋鋭治